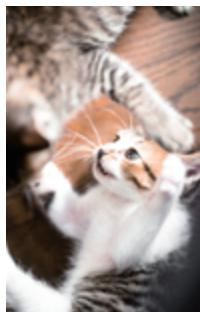
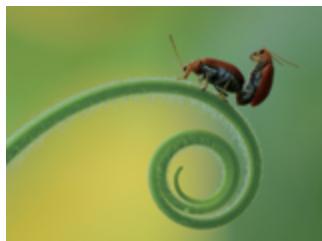


TAMRON®

産業の眼を創造貢献するタムロン

株主通信

第69期 中間報告書



2015年1月 1日



2015年6月30日



世界
最軽量*
400g

NEW 18-200mm F/3.5-6.3 Di II VC (Model B018)

*APS-Cサイズ相当デジタル一眼レフカメラ用交換レンズ18-200mm
手ブレ補正機構搭載レンズにおいて(2015年8月5日現在。タムロン調べ)

Contents

ごあいさつ	1-2
セグメント別事業の概況	3-4
Zoom up (特集)	5-6
トピックス	7-8
連結財務ハイライト	9
連結財務諸表	10
CSRへの取り組み	11
タムロンのものづくり	12
フォトコンテスト	13
会社情報	14



代表取締役社長 小野守男

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社第69期上半期(2015年1月1日~2015年6月30日)の営業概況についてご報告申し上げます。

当上半期における世界経済を概観しますと、米国経済は、ドル高進行等による輸出の伸び悩みも見られましたが、雇用環境の改善に支えられ、個人消費が好調に推移し、景気は回復基調が継続いたしました。欧州経済は、ギリシャ情勢の混乱もありましたが、ユーロ圏の景気は緩やかに回復いたしました。中国経済は、主に固定資産投資の伸び鈍化の影響により、景気の拡大テンポは減速傾向が継続いたしました。

一方わが国経済は、企業収益の改善による設備投資の持ち直しや雇用・所得環境の改善が継続し、個人消費も底堅く推移したことから緩やかな回復基調で推移いたしました。

当社グループ関連市場であるデジタルカメラ市場では、レンズ交換式カメラの出荷台数が、前年同期比で若干の減少となりましたが、第1四半期では前年同期に国内市場における消費増税前の駆け込み需要があったこと等により約1割の減少となっていた出荷台数が、第2四半期では前年同期比で若干のプラスに転じる等、底打ちの兆しが見えてまいりました。交換レンズもレンズ交換式カメラ同様に、前年同期比で若干の減少となりましたが、第2四半期以降は回復傾向となりました。なお、レンズ交換式カメラ及び交換レンズの出荷台数は減少となっておりますが、金額ベースでは前年同期比で増加となりました。

レンズ一体型カメラにつきましては、出荷台数が前年同期比で約2割の減少となり、市場縮小が継続いたしました。

このような状況の下、当社グループの当上半期における経営成績は、自社ブランド交換レンズが好調に推移し、円安ドル高の影響による為替のプラス影響もあったことから、売上高は352億35百万円(前年同期比7.5%増)となりました。

利益面につきましては、円高ユーロ安等による為替のマイナス影響がありましたが、自社ブランド交換レンズの増収効果等により、営業利益は27億64百万円(前年同期比7.8%増)、経常利益は28億19百万円(前年同期比6.9%増)となりました。また、四半期純利益につきましても、株式会社宏友興産の子会社化に伴う負ののれん発生益等の特別利益計上により、26億78百万円(前年同期比47.1%増)となり、増収増益を達成いたしました。

通期の見通しについて

下半期の国内外の景気動向につきましては、為替相場の動向や中国、ロシア等の新興国経済の先行き等の不安材料も懸念されますが、緩やかな回復基調が継続するものと思われれます。

当社グループの当上半期の連結業績は概ね計画通りに推移したことから、2015年4月28日に発表いたしました通期業績予想を据え置き、売上高785億円(前期比6.6%増)、営業利益66億円(前期比8.6%増)、経常利益64億円(前期比3.2%増)、当期純利益48億50百万円(前期比26.1%増)と2期連続増収増益を見込んでおります。

※下半期の前提為替レートにつきましては、1米ドル=120円(当初想定レートは115円)、1ユーロ=135円(当初想定レートから変更なし)としております。

配当金について

中間配当金につきましては、当上半期業績や財務状況等を総合的に勘案し、1株につき前期比5円増配となる25円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、これからも引き続きご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

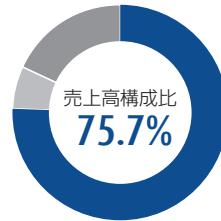
2015年9月

写真関連事業

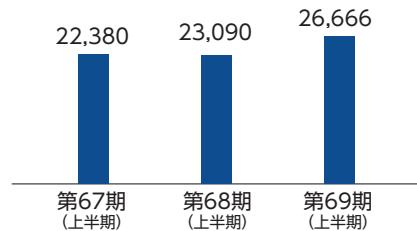
写真関連事業は、自社ブランド交換レンズが、日本、欧州、米国、中国の主要市場全てにおいて現地通貨ベースで増収を達成する等、好調に推移いたしました。

特に、超望遠ズームレンズSP150-600mm VC USD (A011) が前年に引き続き好調を維持し、また、2014年12月に発売したフルサイズ対応の大口径 F/2.8の超広角ズームレンズでは世界初となる手ブレ補正機構 [VC] を搭載したSP15-30mm VC USD (A012) も順調に販売を伸ばし、業績に貢献いたしました。

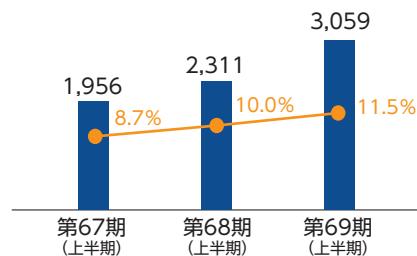
このような結果、写真関連事業の売上高は、266億66百万円(前年同期比15.5%増)、営業利益は30億59百万円(前年同期比32.4%増)となり、2桁の増収増益を達成いたしました。



売上高 (百万円)



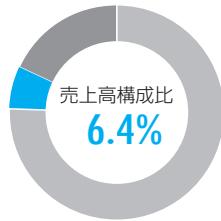
営業利益 (百万円) / 営業利益率 (%)



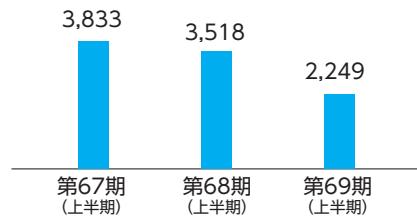
レンズ関連事業

レンズ関連事業は、コンパクトデジタルカメラやデジタルビデオカメラの市場縮小が継続した影響等により、減収となりました。

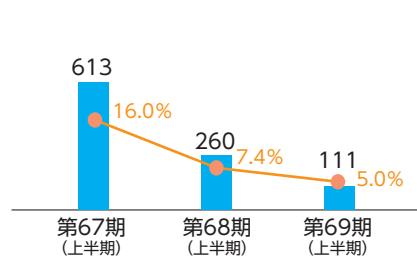
このような結果、レンズ関連事業の売上高は、22億49百万円(前年同期比36.1%減)、営業利益は1億11百万円(前年同期比57.2%減)となりました。



売上高 (百万円)



営業利益 (百万円) / 営業利益率 (%)

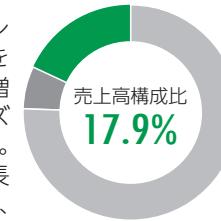


特機関連事業

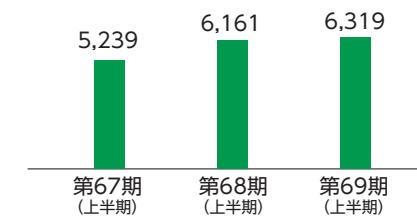
特機関連事業は、監視カメラ用レンズが中国市場での競争激化の影響を受けましたが、その他地域では販売増となったことや、車載カメラ用レンズの売上拡大により増収となりました。

なお、今後の監視カメラ市場の成長や用途の広がりを見据え、昼夜監視、都市監視、交通監視、マシンビジョン等、様々な場面での高画素等のニーズに対応すべく、各種新製品の開発に注力いたしました。

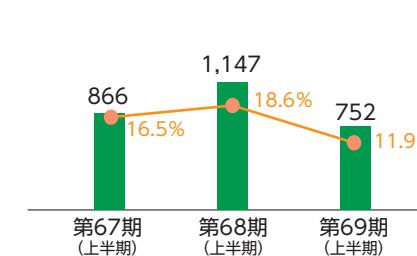
このような結果、特機関連事業の売上高は、63億19百万円(前年同期比2.6%増)、営業利益は7億52百万円(前年同期比34.4%減)となりました。



売上高 (百万円)



営業利益 (百万円) / 営業利益率 (%)



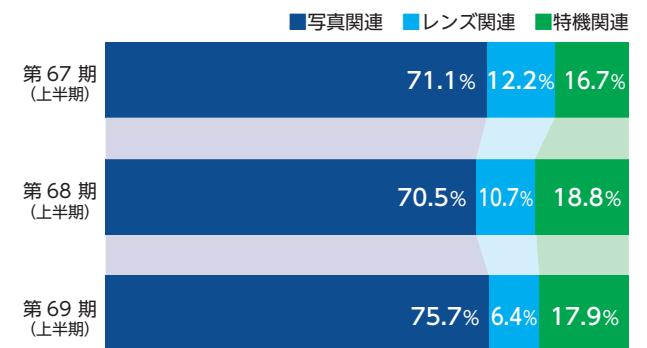
セグメント別データの推移

(百万円)

	第67期 (上半期)	第68期 (上半期)	第69期 (上半期)	
写真関連	売上高	22,380	23,090	26,666
	セグメント利益	1,956	2,311	3,059
レンズ関連	売上高	3,833	3,518	2,249
	セグメント利益	613	260	111
特機関連	売上高	5,239	6,161	6,319
	セグメント利益	866	1,147	752
セグメント利益の調整額*	△ 1,075	△ 1,153	△ 1,159	
連結営業利益	2,360	2,565	2,764	

*セグメント利益の調整額は、当社の総務、経理等の本社部門に係わる配賦不能営業費用等です。

連結売上高構成比率の推移



Zoom up

新製品発売!

世界最軽量*400g、広角も望遠も1本で撮影できる
18-200mm高倍率ズームがリニューアル
定評ある手ブレ補正機構と静音化したAF機構を搭載

『18-200mm F/3.5-6.3 Di II VC (Model B018)』
キヤノン用、ニコン用 同時発売

『18-200mm F/3.5-6.3 Di II VC (Model B018)』(以下『18-200mm VC』)は、発売から10年を経過するベストセラーレンズ『AF 18-200mm F/3.5-6.3 XR Di II LD Aspherical [IF] MACRO (Model A14)』の後継機種として開発されました。『18-200mm VC』は、最新の光学設計と機構構造を採用。新たに手ブレ補正機構を搭載しながらも世界最軽量*と高画質を実現し、より使いやすいレンズに仕上がっています。『18-200mm VC』は「高倍率ズームレンズのパイオニア」としてこれまでタムロンが培ってきたノウハウを活かした、デジタル一眼レフ初心者の方が気軽に撮影を楽しむための最適な1本です。

*APS-Cサイズ相当デジタル一眼レフカメラ用交換レンズ18-200mm手ブレ補正機構搭載レンズにおいて。(2015年8月5日現在。タムロン調べ)

18-200mmとして世界最軽量の400gを達成

高剛性なエンジニアリングプラスチックを駆使した新たな機構構造を採用することで、大幅な軽量化を図りました。小型軽量化が進むAPS-Cサイズ相当デジタル一眼レフカメラとの組み合わせでも、バランスに優れ携行性を損ないません。



室内での集合写真や迫力の望遠撮影も、これ1本でOK

広角から望遠まで、幅広い画角にフレキシブルに対応。レンズを交換することなく、思いどおりのフレーミングが楽しめます。



NEW



性能を高めた新設計モーターを採用

従来のDCモーター搭載モデルと比較して、AFの精度とスピードが向上。また、AF駆動時のモーター音を可能な限り低減しました。オートフォーカスユニットを改善したことで従来DCモーター搭載機種と比較してAFスピードが向上し、動きの速い子供や動物の撮影でも、高い精度で対応できます。同様に、従来に比べ大幅に静音性が向上したことにより、子供の発表会など静寂が望まれる場面でも、AFの駆動音を気にせず撮影することができます。

手持ち撮影の可能性を広げる、手ブレ補正機構を搭載

定評あるタムロンの手ブレ補正機構「VC」(Vibration Compensation)を搭載。高倍率ズームレンズの広角域から望遠域まで、様々な撮影シーンで強力に補正効果を発揮するため、初心者でも安心してシャープで綺麗な写真を撮ることができます。

EISAアワード

SP 15-30mm F/2.8 Di VC USD (Model A012) が
EISAアワード『ヨーロッパ DSLRズームレンズ2015-2016』賞を受賞
タムロンレンズは10年連続受賞の快挙を達成



受賞理由

タムロンの15-30mmレンズは革新的な設計により、大口径F/2.8の超広角ズームレンズでありながら手ブレ補正機構を搭載している。収差が少ないため風景だけでなく、室内や建築物の撮影に適しており、ストリートスナップやドラマチックなポートレートの撮影用途にも使用できる。並外れて優秀な光学性能により、高いコントラスト性能と描写力を誇る。AFと手ブレ補正機構も非常に有効である。製品の堅牢性も高く、簡易防滴構造も備わっている。大きく重いレンズではあるが、コストパフォーマンスが素晴らしく高い。

タムロンの「EISA」アワード受賞の軌跡

当社レンズのEISAアワード受賞は今年度で17回目を数えますが、2006年度より10年連続受賞の快挙を達成しています。

「EISAアワード」について

「EISAアワード」は、EISA (EUROPEAN IMAGING AND SOUND ASSOCIATION)が、年間で最優秀と認める写真、オーディオ、ビデオ等の分業別製品に対して授ける賞です。欧州の主要20ヶ国、約50の著名な写真・映像・音響・モバイルエレクトロニクス関係専門誌の編集長と技術主幹で構成されており、各市場を牽引する製品を調査し決定しています。

Topics トピックス

自己株式の取得、自己株式の消却を実施

- (株)宏友興産の子会社化、吸収合併を通じ、当社株式1,529,826株を自己株式として取得
- 取得した自己株式の消却を通じ、株主価値及び資本効率が向上

(株)宏友興産の株式の取得(完全子会社化)

(特定の株主からの自己株式取得に準ずる手続による取得)



3/31

(株)宏友興産を吸収合併(簡易合併・略式合併)

▶(株)宏友興産が保有していた当社株式を当社が自己株式として保有



6/1

自己株式を消却

▶1,550,000株(消却前の発行済株式総数の5.64%)を消却

当社発行済株式総数: 27,500,000株→25,950,000株

6/26

Topics

1

14-150mm F/3.5-5.8 Di III (Model C001) がTIPAアワード2015『ベスト CSC エントリーレベル・レンズ』賞を受賞

*CSC(Compact System Camera)はコンパクトシステムカメラ。

当社初となるマイクロフォーサーズ・ミラーレス一眼カメラ専用の高倍率ズームレンズ、「14-150mm F/3.5-5.8 Di III (Model C001)」が「TIPA アワード2015 / BEST CSC ENTRY LEVEL LENS」賞を受賞。

受賞理由

コンパクトシステムカメラは軽量で携行性に優れ、写真表現の可能性を大いに広げています。タムロンはまさにコンパクトシステムカメラの利点を生かした、軽量コンパクトなマイクロフォーサーズレンズを開発しました。質量285g、全長80.4mmのコンパクトなボディでありながら、35mm判換算で28-300mmの焦点距離をカバーしています。最短撮影距離は0.5m、特殊硝材もふんだんに使用しています。レンズボディもブラックとシルバーの2色展開でユーザーのカメラに合わせることができます。



「14-150mm F/3.5-5.8 Di III (Model C001)」

Topics

2

監視カメラ市場の今後の市場拡大や用途の広がりを見据え、製品ラインナップを強化

5メガピクセル・NIR (Near-IR) 対応 標準パリアフォーカルレンズ Pアイリスタイプ 1/1.8型 4-13mm F/1.5	監視用 近赤外/ 2メガピクセル対応 パリアフォーカルレンズ 1/3型 5-50mm F/1.6	監視用 近赤外/ 3メガピクセル対応 一体型カメラ用 コンパクトズームレンズ 1/2.7型 3-9mm F/1.3	3メガピクセル・NIR (Near-IR)対応 望遠パリアフォーカルレンズ Pアイリスタイプ 1/2.7型 8-50mm F/1.6	高倍率36倍電動 ズームレンズ 1/1.8型 10-360mm F/1.6	超高性能3.1μm ピクセルピッチ・ イメージセンサー対応 工業用単焦点レンズ 1.1型 50mm F/1.8
--	---	---	---	--	---



Model: M118VP413IR



Model: M13VG550IR



Model: DF024NL



Model: M13VP850IR



Model: M118ZG36X10IRPF/
M118ZG36X10IRP



Model: M111FM50

Topics

3

当社が培ってきた光学ノウハウを活かし、遠赤外線レンズに注力

全域F/1.0の明るさを実現した、遠赤外用望遠3倍ズームレンズ
標準スクリューマウント対応で登場。

35-105mm F/1.0 (Model: LQZ3X3510V)

開発の意図

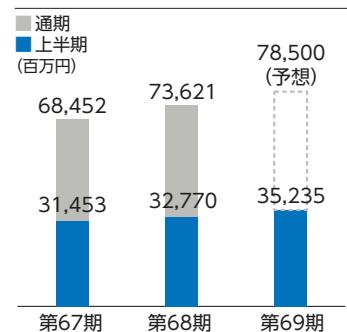
写真用レンズやセキュリティカメラ用レンズで培ってきた様々な技術を、遠赤外線レンズ開発に活かし、セキュリティに最適な遠赤外線レンズを開発・発売してきました。ラインナップの中でも、35mmから望遠域の105mmの焦点距離をカバーできるズームレンズ/モデルSD006は、大口径F/1.0を実現した画期的なレンズで、監視用途に有用な技術特長をもち、各焦点距離領域で中心から周辺にわたる均質な画質性能を評価されています。

今回、SD006を標準スクリューマウントに対応したVGA/QVGA解像度用モデルLQZ3X3510V (35-105mm F/1.0)を発売。これにより、セキュリティ市場で採用の機会が増え、遠赤外線レンズの優れた特性をより広範なアプリケーションに展開することが可能になります。

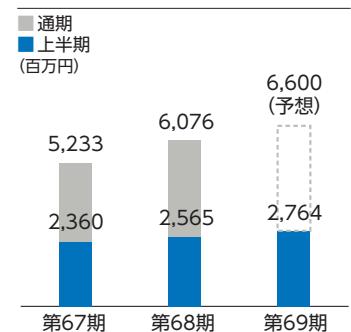


Model: LQZ3X3510V

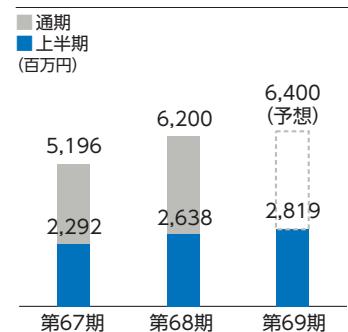
●売上高 上半期 7.5% UP



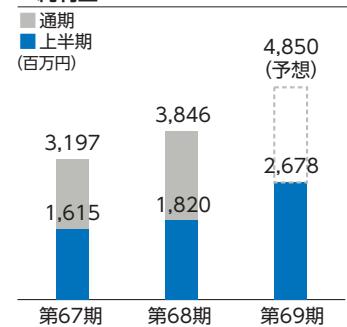
●営業利益 上半期 7.8% UP



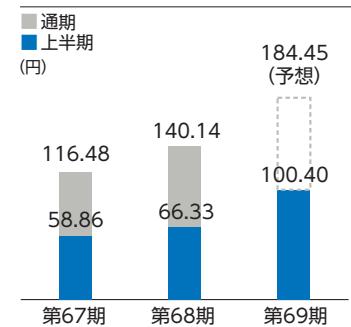
●経常利益 上半期 6.9% UP



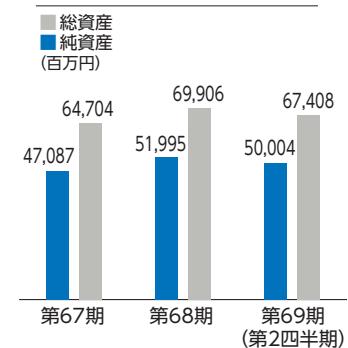
●当期(四半期)純利益 上半期 47.1% UP



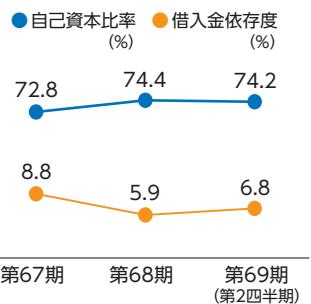
●1株当たり当期(四半期)純利益



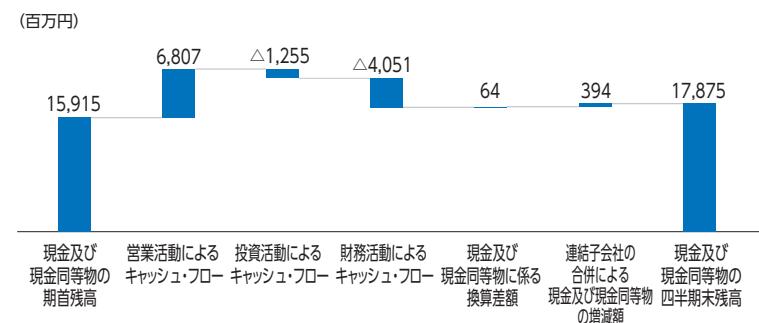
●総資産／純資産



●自己資本比率／借入金依存度



●キャッシュ・フロー (第69期第2四半期)



連結貸借対照表(要旨)

科目	(単位:百万円)	
	当第2四半期 (2015年6月30日現在)	前期 (2014年12月31日現在)
資産の部		
流動資産	44,834	46,955
固定資産	22,574	22,950
資産合計	67,408	69,906
負債の部		
流動負債	14,550	14,602
固定負債	2,852	3,308
負債合計	17,403	17,911
純資産の部		
株主資本	43,766	45,883
その他の包括利益累計額	6,237	6,111
純資産合計	50,004	51,995
負債純資産合計	67,408	69,906

Point

総資産

●流動資産 受取手形及び売掛金が46億90百万円減少した一方、現金及び預金が19億59百万円増加したこと等により、流動資産は、前期末に比べ21億21百万円減少し、448億34百万円となりました。
●固定資産 有形固定資産のうち建物及び構築物が2億29百万円、機械装置及び運搬具が3億99百万円減少したこと等により、固定資産は前期末に比べ3億76百万円減少し、225億74百万円となりました。

負債

●流動負債 買掛金が9億円減少した一方、短期借入金が10億77百万円増加したこと等により、流動負債は前期末に比べ52百万円減少し、145億50百万円となりました。
●固定負債 長期借入金が5億41百万円減少したこと等により、固定負債は前期末に比べ4億55百万円減少し、28億52百万円となりました。

純資産

利益剰余金が21億44百万円減少した一方、為替換算調整勘定の残高が58億67百万円となったこと等により、純資産は前期末に比べ19億90百万円減少し、500億4百万円となりました。

連結損益計算書(要旨)

科目	(単位:百万円)	
	当第2四半期 (2015年1月1日から 2015年6月30日まで)	前第2四半期 (2014年1月1日から 2014年6月30日まで)
売上高	35,235	32,770
売上原価	23,821	22,444
売上総利益	11,413	10,326
販売費及び一般管理費	8,648	7,761
営業利益	2,764	2,565
営業外収益	191	194
営業外費用	136	120
経常利益	2,819	2,638
特別利益	753	-
税金等調整前四半期純利益	3,572	2,638
法人税等	894	817
少数株主損益調整前四半期純利益	2,678	1,820
四半期純利益	2,678	1,820

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

科目	(単位:百万円)	
	当第2四半期 (2015年1月1日から 2015年6月30日まで)	前第2四半期 (2014年1月1日から 2014年6月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,807	4,927
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,255	△1,300
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,051	△675
現金及び現金同等物に係る換算差額	64	△302
現金及び現金同等物の増減額	1,564	2,650
現金及び現金同等物の期首残高	15,915	14,297
連結子会社の合併による現金及び現金同等物の増減額	394	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,875	16,947

営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益が35億72百万円、減価償却費が16億9百万円、売上債権の減少額が46億7百万円となったこと等により、営業活動によるキャッシュ・フローは68億7百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出が11億41百万円となったこと等により、投資活動によるキャッシュ・フローは12億55百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

短期借入金の純増額が11億47百万円となった一方、長期借入金の返済が6億82百万円、自己株式の取得による支出が36億92百万円、配当金の支払額が8億22百万円あったこと等により、財務活動によるキャッシュ・フローは40億51百万円の支出となりました。

子育てサポート企業「くるみん」マークを取得

タムロンは「次世代育成支援対策推進法」に基づく認定制度において、「子育てサポート企業」として認定されました。育児休業が取得しやすい環境づくりに取り組んでいることや仕事と育児の両立支援の規定が整備されていること、またノー残業デー継続実施や計画年休4日(夏休み)等によるワークライフバランスへの取込等を含め、2010年～2015年の5年間の施策が評価されたことです。



認定を受けるには

- ・雇用環境の整備について一般事業主行動計画を策定・実施し、目標を達成していること。
 - ・計画期間内に男性育児休業等の取得者が1名以上いること。
 - ・女性の育児休業取得率が75%以上であること。
 - ・所定外労働時間を削減するための取組みなど子育てをしやすい環境を整える取込みを実行していること。
- など、合計9つの基準を満たす必要があります。

当社はこれらの基準を満たしたと認められ2015年認定事業主となりました。今後も子育て支援を含むワークライフバランス実現に向けた取り組みを積極的に進めてまいります。

埼玉県の「多様な働き方実践企業」でプラチナに認定

埼玉県では、女性の力で埼玉経済を元気にする「埼玉県版ウーマノミクスプロジェクト」を進めています。その一環として、「多様な働き方実践企業」を認定しており、タムロンは2015年3月に最高位の「プラチナ」企業に認定されました。

認定基準について

- (1) 女性が多様な働き方を選べる企業
- (2) 法定義務を上回る短時間勤務制度が職場に定着している企業
- (3) 出産した女性が現に働き続けている企業
- (4) 女性管理職が活躍している企業
- (5) 男性社員の子育て支援策を積極的に実行している企業
- (6) 取り組み姿勢を明確にしている企業



当社は(3)については100%を達成するなど、多くの基準を満たし、2014年3月に「ゴールド」に認定、さらに(4)について基準をクリアし、2015年3月に「プラチナ」に認定されました。今後も、企業内保育所の設立など、男女問わずいきいきと働き続けられる環境をつくり、仕事と子育て等の両立を支援してまいります。

第18回環境コミュニケーション大賞において「優良賞」を受賞

タムロンが発行した「CSR報告書2014」が、第18回環境コミュニケーション大賞(主催:環境省、一般財団法人地球・人間環境フォーラム)の環境報告書部門において「優良賞」を受賞しました。

「環境コミュニケーション大賞」は、優れた環境報告書(CSR報告書含む)などを表彰することにより、事業者等の環境経営及び環境コミュニケーションへの取組を促進するとともに、環境情報開示の質の向上を図ることを目的とする表彰制度です。

当社は、環境報告書部門に応募して優良賞(審査委員長賞)50点のうちの一つに選ばれました。当社は、この度の受賞を励みにCSR活動をさらに推進して社会の持続可能な開発に貢献してまいります。



受賞の様子

自社基準で環境配慮製品を追加認定

この度、タムロンは当社の「製品アセスメント規定」に則り、環境に配慮した製品を追加で認定致しました。この「製品アセスメント規定」では、国内外の化学物質規制を順守し、製品に有害な化学物質を含んでいないことを条件に、従来品と比較し、省資源や製品の長寿命化、小型軽量化、使用時の省電力化、解体容易化など、環境配慮が伴った製品を評価しています。

当社ではこのような製品における環境配慮をメーカーの使命として取り組み、その活動を当社の自己宣言による環境ラベル「タムロン エコラベル」に表しています。



「タムロン エコラベル」は「経済、社会、環境を優しい眼で見つめる」ことを意識し、デザインされました。眉毛に相当する部分は風、空気、水の流れを表現しています。瞳は地球、グリーンを、瞳の中の木は廃棄物の3R(リデュース・リユース・リサイクル)への取組みを表現しています。

挑戦する

Challenge

金型作りの革新に挑戦する
本社モールドテクノセンター。
レンズ製造の土台となる
超高精密プラスチック成形金型
を日夜製造しています。



製品実現の基礎を築く

本社には二つの大規模な金型製造設備があります。一つは自動制御で24時間稼働するマシニングセンターで構成するライン。金型製造の大幅な期間短縮を実現しています。もう一つは、職人技が生きる在来型の金型工場。タムロン製品の金型は全てここで作られ、高精度、高品質生産の土台を作り上げます。

金型工場にはあらゆるタイプの金型を製造する設備が揃っています。放電加工機では微細な形状を加工します。

プラスチック部品の品質は、金型の精度で決まります。ミクロンレベルで形状の誤差を計測し、調整します。

核となるコア部分をはめ込み、入念にテストランを行います。

完成した金型は、国内外の生産ラインに運ばれます。



会社情報

会社概要 2015年6月30日現在

商号 株式会社タムロン
 創業 1950年11月1日
 設立 1952年10月27日
 本社 埼玉県さいたま市見沼区蓮沼1385番地
 資本金 69億23百万円
 従業員数 5,994名(連結)

役員 2015年6月30日現在

代表取締役社長 小野 守男
 取締役副社長 白井 義博
 取締役副社長 長島 久明
 取締役副社長 鱒坂 司郎
 専務取締役 新井 宏明
 専務取締役 志村 忠寛
 専務取締役 大瀬 英世
 常務取締役 濱田 憲一
 常務取締役 市川 敬
 常務取締役 川鍋 宏
 取締役 阿保 正行
 取締役 桜庭 省吾
 取締役 増成 弘治
 取締役 清水 秀雄*
 取締役 横瀬 三亀夫*
 常勤監査役 土屋 次男
 常勤監査役 並木 孝行*
 監査役 利根 忠博*
 監査役 西本 恭彦*

注1. *印の取締役は社外取締役、監査役は社外監査役であります。
 2. 当社は、取締役 清水 秀雄、取締役 横瀬 三亀夫及び監査役 並木 孝行を東京証券取引所の定める独立役員として、同取引所に対し届け出ています。

株式の状況 2015年6月30日現在

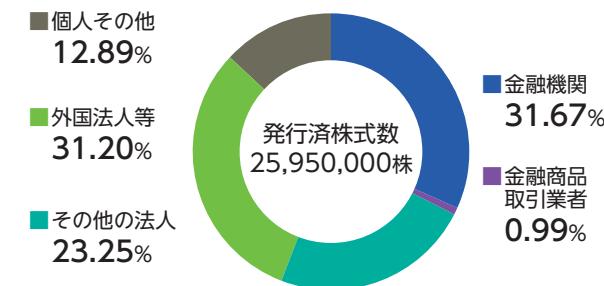
発行可能株式総数 80,000,000株
 発行済株式の総数 25,950,000株
 単元株式数 100株
 株主数 4,417名 ※単元未満除く

■大株主

株主名	所有株式数(千株)	持株比率(%)
株式会社ニューウェル	4,898	18.87
ソニー株式会社	3,129	12.06
BNP PARIBAS SEC SERVICES LUXEMBOURG/ JASDEC/ ABERDEEN GLOBAL CLIENT ASSETS	2,438	9.39
JP MORGAN CHASE BANK 385174	1,524	5.87
株式会社埼玉りそな銀行	1,122	4.32
日本生命保険相互会社	580	2.23
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	542	2.08
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	391	1.51
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223	345	1.33
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	329	1.27

注. ソニー株式会社の持株数3,129千株は、みずほ信託銀行株式会社へ委託した信託財産であります。信託約款上、議決権の行使並びに処分権については、ソニー株式会社が指図権を留保しております。

■株式所有者別分布 ※単元未満除く



フォトコンテスト作品募集
 株主の皆様もぜひご応募ください

第12回 タムロン マクロレンズフォトコンテスト

“マクロレンズのタムロン”が主催する、マクロレンズ限定のフォトコンテスト

募集期間 2015.5.1(金) → 10.31(土) グランプリ、金賞に副賞が追加になりました

👑 **グランプリ** (全応募作品より選出・1名) 賞金 **30万円** 副賞 RAW現像ソフト「SILKYPIX Developer Studio Pro6」パッケージ版

ネイチャーの部

植物や昆虫、小動物などのネイチャー写真を対象とします。

審査員 石井 孝親 氏(写真家)

金賞(2名).....賞金 **10万円**

副賞 RAW現像ソフト 「SILKYPIX Developer Studio Pro6」パッケージ版

銀賞(2名).....賞金 **5万円**

銅賞(4名).....賞金 **1万円**

入選(5名).....賞金 **5千円**

タムロン賞(1名).....賞金 **5万円**

ノンジャンルの部

人物・アクセサリ・料理など、ネイチャー写真に限らず広く募集します。

審査員 岡本 洋子 氏(写真家)

金賞(2名).....賞金 **10万円**

副賞 RAW現像ソフト 「SILKYPIX Developer Studio Pro6」パッケージ版

銀賞(2名).....賞金 **5万円**

銅賞(4名).....賞金 **1万円**

入選(5名).....賞金 **5千円**

タムロン賞(1名).....賞金 **5万円**

その他の応募の詳細や規約等につきましては、本コンテストのウェブサイトでご確認ください。

http://www.tamron.co.jp/special/macrocon2015/index_outline.html

星空風景フォトコンテスト

タムロンでは初めてとなる天体写真のフォトコンテスト

募集期間 2015.8.3(月) → 11.1(日) テーマ:天体写真、星景写真

👑 **グランプリ** (両テーマを含む応募作品全体より1点) 賞品 タムロンレンズSP15-30mm もしくはSP150-600mmのどちらか1本を選択

🏆 **テーマ賞** 両テーマから1点ずつ 賞品 タムロンレンズSP15-30mmもしくはSP150-600mmのどちらか1本を選択

🏆 **入選** 両テーマから5点ずつ 賞品 タムロンレンズ16-300mm F/3.5-6.3 Di II VC PZD Macro [Model B016]

その他の応募の詳細や規約等につきましては、本コンテストのウェブサイトでご確認ください。

<http://www.tamron-hoshi-con.jp>

株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
基準日	定時株主総会 毎年 12月31日 期末配当 毎年 12月31日 中間配当 毎年 6月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031(フリーダイヤル) ※ 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
公告方法	電子公告 ※ ただし、電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 当社ホームページ http://www.tamron.co.jp

お知らせ

- 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払について
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

株式会社タムロン

〒337-8556 埼玉県さいたま市見沼区蓮沼1385番地
TEL 048-684-9111(代) FAX 048-683-8289 <http://www.tamron.co.jp>

■ IR情報関連に関するお問い合わせ：経営企画室

TEL 048-684-9114(午前9:00~午後5:20) FAX 048-683-8282 e-mail: kabushiki@tamron.co.jp

ホームページのご紹介

当社ホームページでは、事業内容をはじめ、商品のご紹介からIR情報に至るまでの様々な情報を掲載しています。ぜひご活用ください。

主な掲載コンテンツ

- 企業情報
- 製品一覧
- IR情報
- CSR
- 採用情報
- お問い合わせ

タムロン トップページ

URL <http://www.tamron.co.jp>



タムロン フォトサイト

URL http://www.tamron.co.jp/index_p.html



UD FONT
by MORISAWA

見やすいユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

VEGETABLE
OIL INK

本冊子は環境保全のため、
植物油インキで印刷しています。